

京都市桂川 特別養護老人ホーム

祝 100歳

敬老の日を前に、100歳記念で表彰を受けられました。

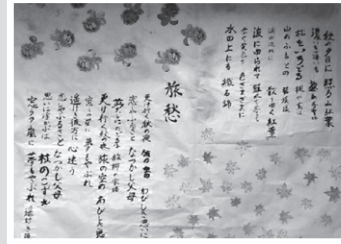
明るく笑顔で私たち職員に声を掛けて下さり、いつもパワーを頂いています。



「100歳おめでとうございます」との声に「えー、もう100歳か！びっくりするわ」と自分自身の年齢にびっくり仰天。長生きの秘訣は？との問いに元気よく「なんでも美味しく食べること！」と答えて下さいました。いつまでも、明るく元気で長生きしてくださいね。

京都市桂川老人デイサービスセンター 京都市桂川障害者デイサービスセンター

利用者さんの皆様や、地域の皆様に季節を感じて頂けるような掲示物制作に励んでいます。



老人デイサービス

利用者さんが1文字1文字書いて下さった季節の歌。

障害者デイサービス

絵画制作に取り組まれている利用者さんの絵に歌謡曲を。皆様、立ち止まって口ずさんでられます。



先日、中学校の先生から「玄関から見える掲示物、いつも楽しみにしています」と言って頂きました。皆様から頂く、お言葉を励みにこれからも利用者さんの皆様と一緒に頑張っていきます。

第12回 全国障害者スポーツ大会 出場!! 京都市桂川療護園

6月からの練習は1回も休まずメダル獲得!

岐阜清流国体に参加して 長谷川 清



10月11日～16日の6日間、京都市代表として国体に参加しました。私の出場した競技は「スラローム」「ピーンバッグ投げ」の2種目です。皆様（コーチの方々や職員さん）のおかげで2種目とも銅メダルを取ることが出来ました。ありがとうございました。

改めて振り返ると、国体に向けての練習は6月から始まり練習場までの長い移動時間、炎天下のグラウンドでの練習、普段は経験したことのない環境の下すごく大変でした。それでも一回も休むことなくやり遂げたことはメダルを取ったことよりも嬉しく自信になりました。

また、大会に行って印象的だったのは、宿舎で食べるご飯がおいしかったことと量の多さです。特にうな丼と飛騨牛カレーはおいしかったです。量に関してはおかずもいっぱいあり食べられるかと心配しましたが案外食べられました。(笑)でも3、4日目にお腹の調子を崩しました…。

最後に、今回貴重な経験をさせていただき、一生の思い出となりました。

2種目出場!金メダル!!

自信を持って出場 土井 二三子



国体に出場できる!と決まった時はうれしさ半分ドキドキ半分でした。

国体練習も間近になってきたところで右肩を骨折するというアクシデントもありましたが、練習を休むことなく京都選手団の方と一緒に頑張る練習をしました。

50M走ではなかなかまっすぐに走ることが出来ず苦戦しましたが本番はバッチリ!

レーンを一直線に走ることが出来ました☆

観客席からの沢山の拍手は今でも忘れることが出来ない思い出です。楽しい6日間でした。



編集後記

秋晴れの心地よい日曜日ふれあい祭りに参加しました。はさみを初めて使う小さな子供さんが、切り絵で遊んでいるうちにどんどん上達していく姿を見て、子供の成長のすごさを改めて感じました。桂川中学校の生徒さん、地域のボランティアさんにも随分お手伝いいただきました。多くの地域の方の支援を受け、元気をいただき、明日から又、地域の高齢者の元へ自転車で走ります。(地域包括支援センター：河村佐和子)

個人情報の保護に伴い写真を使用する方には同意をとっております。

桂川園のしあわせたより

にじ色の風

vol.
11

2012年12月1日

発行 / 京都桂川園
編集 / 広報委員会
印刷 / 南アクト

にじの彼方には 幸せがあり 桂川園の幸せたよりを運ぶ風

地域の皆様に

『歌と演奏』で楽しさ届くといいな

第13回 「かつら川ふれあい祭り」オープニング参加

特別養護老人ホームの利用者さん3名

療護園の利用者さん10名

川岡東小学校の児童たち5名で発表。

やっぱり音楽は楽しい。また機会があったら参加したいです。(高橋くにさん)



歌ってて楽しかったです。また、機会があれば一緒に歌いましょう!(飯沼利子ちゃん)



とても緊張しました。でもいい経験だと思います。また弾きたいです。(竹嶋紫ちゃん)



楽しく弾きました。また弾きたいです。(越澤夏花ちゃん)

おしゃれをして本番に挑みます。「こんな歌、聞いたことない。」と言いながらも、毎日一生懸命練習しました。本番では、少し緊張しましたが、練習の成果を出しきることが出来ました。(特養：飯 友美)



オープニングセレモニー直前の1コマ、少しおどけていますが、心の中は熱い思いでいっぱいです。すてきな歌声を響かせますよ!! (長谷川清さん)



とてもよい経験になりました。ありがとうございました。来年も参加したいです。(長友花音ちゃん：指揮者)

練習もなく、ぶっつけ本番で緊張しながら司会をやりました。(林龍斗くん)



年々自信をつけてこれ、自然と背筋もピンっと張ります。表情も自信に満ちていて、胸元のリボンも一層キラリと光っていましたよ。本番は見事に大成功! さすがですね!! (療護：山崎真由美)



特養では、食事の時間に曲を流して歌を覚え、合同練習に励みました。高齢の利用者さんにとっては「翼をください」「ピープ」は聞き慣れない歌でした。「私、こんな歌しらんわ」「難しいし、唄えへん」と言いながら、歌詞を見て一生懸命覚えようとされている利用者さんの姿に「いくつになっても、一生懸命になれるって素敵だなあ…」と感銘を受けました。本番では、たくさんの地域の方々や桂川園に入所されている

利用者さんの応援もあり、緊張した面持ちではありましたが、練習した成果を全て出しきれました。

あたたかいこの地域の皆様のやさしさに感謝し、私たちが「できること」への挑戦、地域の中とともに暮らしていく幸せを利用者さん個々の生活に重ねながら支援していきたいです。

どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。

(特養：石田麻里子)

ふれあい祭りに向けて いろんな思いを届けよう!

京都市桂川地域包括支援センター 桂川居宅介護支援事業所

●相談コーナー

介護予防パンフレットを配布し、気軽に足を運んで頂けるよう介護のお困り事相談を実施しました。元気なうちから「介護予防」をはじめ、お互い安心・安全な生活を送りたいですね。



●豆つかみ

小さな豆をお箸でつまみ30秒間で何個別のお皿に移せるかヨーイドン! 延べ382名参加。今年の最高記録は21個! す・ご・い!!

●切り絵

はさみを上手に使用して、色紙をカット! いろんな色や形で彩り鮮やかに! クリスマスリースのようにステキな作品が完成! 個性いっぱい! いつの間にか夢中になって子ども達約150名の笑顔にパワーをもらいました。



手先を日頃から使うことで
脳にも刺激☆
介護予防に繋がるかな??

京都市桂川老人デイサービスセンター

モデル歩きで若返り!



ふれあい祭りに出品するために編まれた作品を身に付けて、ファッションショーを行いました! モデルの利用者さんは、いつも頼りの押し車は置いて職員と一緒にモデル歩き! 自然と背筋はピンとなり、表情はキラキラ笑顔! 「10歳は若返ったわ!」と嬉しそうな青山さんです。

お陰さまで
大盛況!!



皆様が暖かい冬を 過ごせますように☆

ファッションショーで紹介された作品たちは、ふれあい祭りに出品! 地域の皆様から頂いた毛糸で作ったマフラーやレッグウォーマー。皆様に今年の冬を暖かく過ごしていただけますように…☆

京都市桂川障害者デイサービスセンター

毎年恒例となった、かつら川ふれあいまつり

満員御礼 障害デイサービスプレゼンツ! 子供介護士体験



約300人の子供たちが、友達やご両親と一緒に参加してくれました。今までと違って介護に関する2択クイズにも挑戦!!

地域にあふれるいろいろなバリアを想像しながら、一生懸命に考える子供たちの姿に親御さんたちも驚き、「こんな問題わかるなんて、すごい!」と感動されていた姿がとても印象的でした。

そして、私達職員も、純粋な子供たちの意見に、色々と教えられたり、気付かされる事がたくさんありました。参加して下さいの皆様、ありがとう♡



京都市桂川特別養護老人ホーム

重度化に直面している特養では、日常生活の中で地域へ出向くことが難しくなってきたのが現状です。ふれあい祭りは利用者の方々がそれぞれの楽しみ方で地域へ出向き、年齢などに関係なくたくさんの地域住民の方と交流出来る貴重な機会となっています。
(特養: 石田麻里子)



特養を代表してオープニングに出てくれる3名の利用者さんを、みんなで応援にいきました。素敵な演奏と歌に心もほっこりします。

京都市桂川療護園

一生懸命に作った七宝焼。売れ行きがやはり気になります…。職員に混じってお店の手伝い。今年も良い作品がたくさん出来ましたよ!!



認知症対応型デイサービス 玉頭の家



展示 作品

「紅葉と渡月橋」

初めて下絵を目にした利用者さんに「これ何の絵がわかりますか?」と尋ねると「ん?! 何やろな、わからへん。」と返ってきました。あらかじめ手でちぎってもらった色紙で山の稜線から貼ってもらいました。各曜日の利用者さんの手に

オープニングセレモニーと七宝焼は、毎年の恒例行事。利用者さんのワクワク・ドキドキ、そして、気合いは十分で、今年も盛り上がっていました。
歌の練習や作品作り等、準備の時から、利用者さんのお祭りへの熱い思いがひしひしと伝わってきました。

よって徐々に作業がすすんでいきます。「こないだの続きをしなあきまへん。」と、朝のお迎え時から言って下さる方も。
橋の部分は割り箸を使って立体的に。川の水面には卵の殻を再利用することで自分たちが出来るエコを表現してみました。(森田竜子)

